



⑬初めからできるわけではないこと

2013.1 執筆

私たちが二足で歩くこと、コップを持ってお水を飲むこと、いろいろな行動は生まれた時からできていたことではありませんよね。それと同じでキリンも普段の行動が生まれた時からできているわけではなく、学習し、経験を積んでできるようになったことがあるのです。以下、全てに個体差があることを念頭にお読みください。

まずはアカチャンがお母さんのおっぱいを飲むこと。生まれてすぐに立ち上がろうとしたり、立ち上がった後にお乳を探したりすることは誰に教えてもらう訳でもなく行いますが（素晴らしいですよ！）、お乳を探し当てるのもお母さんのサポートがあるからこそです。しかし、お乳を探し当てたとしてもおっぱいが上手に飲めるわけではありません。乳首からすぐに口が外れてしまったり、うまく吸いつけなかったりとグビグビ上手に飲むのにもお母さんの手助けと、アカチャンの経験によってだんだんうまくなるのです。

そして、成長していくとおっぱいだけでなく水も飲むようになります。キリンの水の飲み方を知っていますか？キリンは口を水面に浸け、そのまま吸い上げて飲むのです。生まれて初めての時は飲むためにではなく、興味本位で水に口を近づけます。唇にちょっと水が触れるだけでペッペッと顔を何度も振ってしぶきを飛ばします。水というものが分かってくると次は舌を出して舌だけを水に付けてみます。そして、そのままイヌのようにピチャピチャと舌に水を付けて口に運びます。それからなぜグビグビ吸い上げて飲めるようになるのかはわかりませんが、ピチャピチャ飲みとグビグビ飲みの移行期間を経て上手に飲めるようになるのです。

他にも、キリンが口を地面に付ける時（水を飲む時や地面の物を拾う時など）のポーズもそうです。キリンは首も長いですが脚も同じくらい長いので首を下げるだけでは地面に口は届きません。そんな時オトナのキリンの多くは前脚を大きく広げて肩の位置を下げます。しかし、この姿勢もコドモの時はいまうまできないのです。たいていは前脚を広げるのではなく、脚の位置はそのまま曲

げて位置を下げます。それが成長に従って開脚ができるようになるのです。移行期間や場合によっては片足は曲げて片足は広げてというような姿勢もとったりします。

キリンたちの好物、木の葉も初めから上手に食べられるわけではありません。初めは食べる目的ではなく、興味本位で葉を口にします。そのうち口に運ぶようになるのですが、その時は一枚一枚ちぎって食べます。オトナキリンの木の葉の食べ方を知っていますか？葉が多く付いている枝からは舌で巻きとって多くの葉を一度に口に入れます。そのように食べることが出来るようになるまでにはこれも練習が必要ななのです！

これらは、3頭の子どもたちの成長を見ていて気付いたことです。

さて、そんな話をしましたが実は「いいオトナ」のキヨミズは未だに水が吸えないのでピチャピチャ飲み。開脚もできないので脚を曲げて地面に口を付けます。

ということは、まもなくできる新しいグラウンドの池で彼は水が飲めないのではないかと思うのです。ピチャピチャ飲みは何度も何度も顔を持ちあげなければいけないのです。地面にある池に不自然な格好で首を下げていて顔だけを上げることは難しいでしょう。しかも、彼は脚があまり強くありませんので教えてその姿勢をさせないように水場を別に設けるつもりです。

それよりも、何故キヨミズは未だに子どものままの行動をするのでしょうか？何故学習しなかったのでしょうか？

理由はわかりません。もしかしたら、キヨミズは1歳半で当園に来て、その時他にキリンがいなかったから学習できなかったのでしょうか？でも、リュウオウもオトワもシウンもみんな1歳になる頃にはそれらが出来ていたような気がするのです。

キヨミズは性格も穏やかでオスとしてのいかつきもないので、そんなところもやっぱりカワイイ♪と思ってしまうのです。



生後2ヶ月のウリュウ



お姉ちゃんのシウンの見事な開脚



生後25日目、オトワの授乳  
ミライのサポートを受けながら